

岩手県北上市



取組みについて説明を受ける様子

□口腔ケアの取り組みを 楽しく実施

北上市では「□口腔機能向上」「□口腔衛生」の重要性を保健師・看護師・歯科衛生士・栄養士がチームを組んで、実際に物を食べたり吹き矢を使うなどゲーム感覚で体験しながら、自分の□口腔機能の状態を認識させて、機能向上のための体操などを習慣化させる取組みを行っていた。専門的な難しい話を聞くのではなく、楽しく体験して学ぶ手法が、参加者の増加に繋がっていた。町にもこうした手法を提案していきたい。

毎日の自分学習や多種の体験学習を実践 — 学力向上の取り組みについて —

大曲西中学校では、積極的に研修を行い、教師力向上に取り組んでいた。授業にはチームティーチングを取り入れ、課題を解く際には生徒同士で確かめ合う「学び合い」が実施されていた。家庭学習は、毎日の自分学習が定着しており、学習ノートは教師が必ず一言添えて返していた。そのほか、農園活動やボランティアなど多種の体験学習も積極的に行われていた。楽しく学ぶ習慣ができており、大いに参考にすべきと感じた。



美術の授業の様子

秋田県大仙市立大曲西中学校

7月1日～3日

委員会・会見・視察・察報告

厚生文教委員会

◎委員長
近藤小野水

○副委員長
芳久浩

○下野義子
小池信一郎

青山高橋
四男美郎
征晋夫

秋田大学教授(元瑞中教師)と 意見交換

児童・生徒の学力向上に向け、瑞穂中学校の元教師であり、現秋田大学教授の浦野先生より講演を受け、意見交換を行った。秋田県では、規律正しく積極的に学ぶことが当たり前にできている。校舎内は明るく勉強しやすい環境に整備され、学校・家庭・地域が信頼し合っていることなど学ぶべきことが多かった。

国立大学法人秋田大学



教育学部子ども発達コースの教室で意見交換